

福祉ぐんま

2026 AUTUMN

No. 298



CONTENTS

特集 P2・3

群馬県子ども・若者総合相談センターが開所します

P4 TOPICS

- 幼児教育・保育の魅力体験ツアー
- 生活支援体制整備事業
- 企業等SDGs活動支援センターの取り組み

P6 ◆ 7月17日の大雨に伴う災害
——つなぐ力が支えた生活再建

P7 ◆ 共同募金運動が始まります

P8 ◆ INFORMATION

- ぐんまの子ども・若者支援ネットワーク
令和8年度“つながる”研修会
- 介護の日・福祉の仕事フェア
- 家庭も仕事も大切にしたい方の仕事相談会
in ソシアス
- 保育の仕事応援セミナー・ほいくしカフェ
- 読者アンケートのお願い

重機で土砂を撤去する『災害支援 一燈なんもく』詳しくはP6をご覧ください！

読者アンケート
実施中！

クオカード
ペイが
抽選で当たる

詳しくは P8 へ

ホームページは
下記からアクセス
してください。



どこに相談したらよいかわからないこと。1人で抱えていませんか？
どんなことでもご相談ください。



安心してお話いただく環境を整えるため、面談は原則予約制としています。
オンラインにも対応しています。



私達がじっくりお話を聴いて、あなたの毎日を、今よりちょっとよくするために一緒に考えます。

相談フロー

民間支援団体
公的支援機関 など

群馬県子ども・若者
総合相談センター

生活
医療
居場所
就労
学校

悩みごとや困りごとの内容、本人・家族の思いや今後の希望に沿って県内各地の多様な支援機関をご紹介します。
また、関係機関と連携しながら、本人やご家族に寄り添います。



社会福祉士やキャリアコンサルタントが困り事についてお話を聴きます。専門的な知見を要する場合にも、連携する各専門職と協力し、対応します。

相談

人との関係で
悩んでいる

なにをやっても
うまくいかない

子どもが家に
ひきこもっている

ご本人／ご家族

話を
聴いてほしい

子どもが学校に
行きたがらない

働きたいけれど
社会に出ることが怖い

ぐんまの子ども・若者支援ネットワーク



子ども・若者総合相談センターは、ぐんまの子ども・若者支援ネットワークとも連携しながら運営していきます。

ぐんまの子ども・若者支援ネットワークでは、困難を抱える子どもや若者、その家族など、サポートを必要とする方が適切な支援につながるよう、支援者である個人・団体同士が連携・協働し、子ども・若者が幸せに過ごせる地域づくりに取り組んでいます。



特集

NEW Open! 2026.10.1 群馬県子ども・若者 総合相談センターが開所します

ニート、不登校、高校中退、ひきこもりなど、社会生活を営む上でさまざまな困難を有する子ども・若者への、効果的かつ円滑な支援が求められるなか、群馬県では、子ども・若者とその家族からの相談を幅広く受け止め、必要な支援につなぐ総合相談窓口として、「群馬県子ども・若者総合相談センター」を設置することとなりました。

当センターについては、本会の権利擁護・子ども若者支援課内に設置、運営を行います。当センター運営を通して、関係機関の皆さまと共に、子ども・若者が安心して未来を描き、自分らしく地域で暮らしていける群馬県の実現を目指します。



センターができること

◎困りごとについて
お話を聴きます



どんなことでも、匿名でも構いません。秘密は守ります。何に困っているかわからない時も一緒に考え、整理します。

◎支援機関をご紹介します



ご希望に応じて、必要なサポートが受けられる機関をご紹介します。はじめの一步が踏み出せるよう丁寧につなぎます。

◎伴走的に支援します



支援機関をご紹介した後も支援が途切れないよう見守ります。心配や不安がある時はお話を聴かせていただきます。

相談対象

群馬県にお住まいの、
概ね15歳から39歳までの方と
そのご家族など

相談受付

平日火～金・土曜日
10時～17時
※月・日・祝と年末年始は
お休みです

相談方法

☎ 027-212-1200
・LINE @751dywsg
・面談 ※予約制です☺

生活支援体制整備事業 行政向け研修会を開催

9月4日（金）、桃山学院大学田中明美先生を講師にお招きし、「作られる計画から創りたい未来へ」をテーマに行政向け研修会を開催しました。当日は、県内市町村の行政職員を中心に115名が参加しました。

田中先生は、奈良県生駒市役所、厚生労働省老健局、奈良県などで、地域包括ケアや地域づくり、高齢者施策に携わってこられました。講義では、これまでの経験をもとに、地域包括ケアの深化・推進が求められる背景について、全国のデータや国の資料を交えながらお話しいただきました。

生活支援体制整備事業については、「対話できる時間を大切にすること」や「地域にはサポートしてくれる人がいる。だからこそ、地域に赴くことが大切」とのメッセージがありました。

また、「通いの場に人が来ない」という悩みを例に、参加者を増やすことだけを考えるのではなく、まずは課題の本質を分析することが重要であるとお話しいただきました。取組を続けるためには、時代や地域の変化に合わせて方法を柔軟に変えていく「しなやかな継続性」が大切であるとの言葉もありました。

生活支援体制整備事業の目指すところは、住み慣れた地域で、誰もが自分らしく暮らし続けることができる地域づくり。「計画をつくること」を目的とするのではなく、「どんな地域をつくりたいのか」という未来を描き、その実現に向けて対話を重ねることの大切さを学ぶ機会となりました。



企業と福祉をつなぐマッチングを進めています



群馬県社会福祉協議会の「企業等SDGs活動支援センター」では、企業が持つ資源やニーズと、福祉現場のニーズをつなぎ、地域課題の解決につながる連携を支援しています。

マッチング事例の一つとして、これまで企業が費用をかけて廃棄していた電機部品を、福祉事業所が無償で引き取る取組が実現しました。福祉事業所では、引き取った部品の分別や解体等を作業として活用することで、障害のある方などの新たな就労機会の拡大につながっています。

企業にとっては廃棄に伴う負担の軽減、福祉事業所にとっては仕事の創出となり、双方の課題解決につながる取組となりました。センターでは、企業と福祉それぞれの「できること」をつなぎ、新たな地域貢献やSDGsの取組を支援しています。

詳しくはこちらから▶



ぐんま保育士・保育所支援センター 幼児教育・保育の魅力体験ツアー

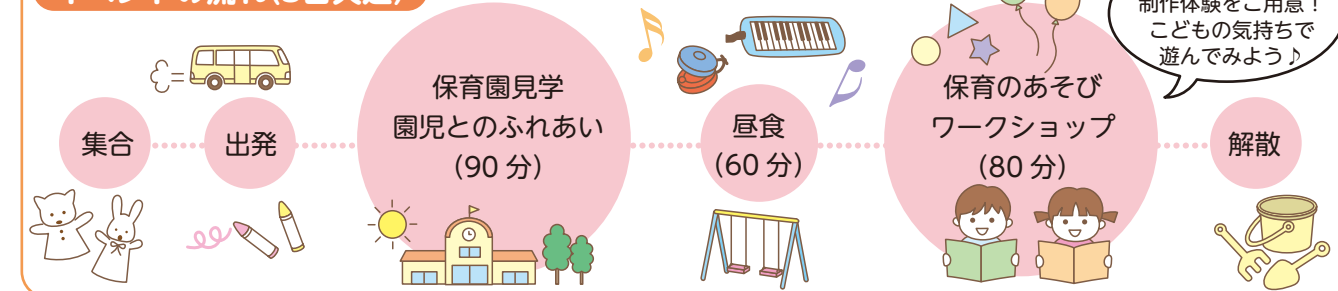
中高生を対象に、園の見学とワークショップを通して保育の仕事を知っていただく体験ツアーを3日程で実施しました。

園見学では、園児さんに積極的にかかわる姿や、園児さんとのかわりを通して感じた気づきや疑問、また、ご自身の将来を見据えた質問を先生方に尋ねる姿など、どの回においても皆さんの積極的な様子が印象的でした。ワークショップにおいても、時に楽しく、時に真剣に、保育の仕事について学んでいただく時間となりました。

今回のツアーが、皆さんの進路選択の一助となっていたらうれしく思います。



イベントの流れ(3日共通)



共同募金運動が始まります



赤い羽根共同募金は、「つながりをたやさない社会づくり」を目指して、人と人とのつながりを大切にす
る福祉活動を支援しています。

群馬県では79回目となる共同募金運動が10月1日から始まります。

特定非営利活動法人 虹色の会 よっちゃん家井野川



つかいみちのご紹介

元看護師を中心とした専門性を生かして、誰もが安心で
きる居場所づくり・支え合える地域づくりを目指して活動し
ています。

その他にも、さまざまな福祉活動に取り組む団体を支援
しています。

また、毎年募金の一部を法定の準備金として積み立てて
おり、県内や全国の災害時の支援活動にも活用されていま
す。



二次元コードより助成レポートをご覧ください ▶

今年も、赤い羽根募金にご理解とご協力をお願いいたします

問い合わせ先

社会福祉法人群馬県共同募金会 〒371-0843 前橋市新前橋町13-12 電話：027-255-6596
詳しくは、群馬県共同募金会HPをご覧ください ▶ <https://www.akaihane-gunma.or.jp>

しせつの損害補償

令和8年度版

「しせつの損害補償」に新たな加入方式「法人包括プラン」ができました。従来の「しせつの損害補償
(施設単位加入)」と「法人包括プラン(法人包括加入)」のいずれかを選択・加入できます。

法人包括プラン NEW

第1種 社会福祉事業
第2種 社会福祉事業
全ての施設・事業を自動補償
収益事業 公益事業

「法人包括プラン」は、福祉施設・事業を経営・運営する社会福祉法人が加入
対象です。(社会福祉協議会を除く)

- ポイント1 安心 福祉施設(事業)の明細要らずで、全ての福祉施設・事業を賠償事故からまとめて補償
- ポイント2 便利 期中で新たに始めた福祉施設(事業)も手続き不要で自動補償
- ポイント3 簡単 契約時は全ての入所型・通所型施設の合計定員数の申告のみ(保育所は別途加入)

しせつの損害補償 (従来の加入方式)

従来のしせつの損害補償は、社会福祉法人、社会福祉協議会、公立福祉施設(自治体)、NPO法人、公益社団法人、公益財団法人が加入対象です。

「法人包括プラン」・「しせつの損害補償(従来の加入方式)」ともプラン1~4は、共通内容です。

プラン1 施設業務の補償 プラン2 施設利用者の補償 プラン3 職員等の補償 プラン4 法人役員等の補償

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は「しせつの損害補償」手引またはホームページをご参照ください。●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会
〈引受幹事〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL：03(3349)5137
受付時間：平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL：03(3581)4667
受付時間：平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)

(SJ25-11172 より抜粋)

7月17日の大雨に伴う災害

——つながる力が支えた生活再建

【7月17日の大雨に伴う災害の被害状況について】

令和8年7月17日の大雨に伴う災害により群馬県内では400軒以上の家屋が被害に遭いました。特に太田市・桐生市では、家屋への床上・床下浸水や土砂の流入など、市民の生活に大きな影響を与えました。被災された皆さまにおかれましては、心よりお見舞い申し上げます。

こうした被害を受け、両市の社会福祉協議会(以下、社協)では災害ボランティアセンター(以下、災害VC)を立ち上げました。そして、住宅内の片付けや清掃、家具の搬出、泥出しなど、被災された方々の生活再建を支えるため、多くの方がボランティア活動を行いました。



災害VCオリエンテーションの様子

【災害VCの機能と役割】



ボランティア活動の様子

災害VCとは、被災した住民の困りごとを聞き取るとともに、支援活動を希望する個人や団体を受け入れ、被災者のニーズとボランティアをつなぐ(マッチングする)仕組みです。また、ボランティアが安心して活動できるように、活動内容の説明や資機材の提供等を丁寧に行っていきます。そして、さまざまな経験・知識を持つ方たちの力をお借りするとともに、地域住民と協力しながら、被災者が住み慣れた地域で暮らしていけるよう支援することが災害VCの役割です。

【群馬県災害VCの機能と役割】

本会では、太田市・桐生市社協の運営に対する後方支援と広域調整を主に、県と協議の上、群馬県災害VCを立ち上げました。支援活動を展開するにあたり、災害VCの運営支援に係る職員の応援派遣、必要な活動資機材の提供、ボランティア活動者としての協力など、市町村社協の皆様にも多方面から支えていただきました。

一方で、床下に入り込んだ泥の除去や浸水した床下の乾燥、重機による土砂撤去など、専門的な知識や技術が必要な作業については、「技術系ボランティア」にご協力いただきました。平時から顔の見える関係づくりを進めていたことで、円滑な支援につなげることができました。

災害からの復旧・復興には、さまざまな関係機関・団体の力が不可欠です。今回の災害対応で広がった支援者とのつながりや経験を今後の災害への備えや地域の支え合いにつなげて参ります。



床下案件に対応する『藤岡災害ボランティアサークル』

INFORMATION

ぐんまの子ども・若者支援ネットワーク 令和8年度“つながる”研修会

子どもを性暴力から守る～私たち大人ができること・すべきこと～



講師 慶應義塾大学SFC研究所上席所員 小笠原 和美 氏

(警察大学校国際警察センター所長兼警察庁長官官房審議官(国際担当))
子どもを性暴力から守るための予防教育用絵本「おしえて!くもくん
プライベートゾーンってなあに?」(東山書房) 監修

日時 令和8年12月13日(日)13:30~15:45(予定)

会場 群馬県公社総合ビル(1階)多目的ホール
(前橋市大渡町1-10-7)



申込フォーム

介護の日・福祉の仕事フェア

〈第1部〉基調講演・パネルディスカッション
(13:00~14:30)

基調講演『仕事は何で選ぶのか』東大卒が介護を選んだ理由から考える職業選択

講師:株式会社チェンジウェーブグループ CCO
木場 猛 氏

〈第2部〉就職相談会(14:30~16:00)
前橋エリアの法人が集まる就職相談会

日時 令和8年11月1日(日)13:00~16:00

会場 K'BIXまえばし福祉会館(前橋市総合福祉会館)
多目的ホール



申込フォーム



ホームページ

家庭も仕事も大切にしたい方の仕事相談会inソシアス

日時 令和8年10月29日(木)10:00~12:00

会場 高崎市市民活動センター「ソシアス」
(高崎市足門町1669-2)



申込フォーム▶



ホームページ▶



保育の仕事応援セミナー・ほいくしカフェ

①【渋川】10月8日(木)10:00~11:00

会場:ハローワーク渋川(渋川市渋川1696-15)



申込フォーム

②【伊勢崎】10月26日(月)10:00~11:00

会場:ハローワーク伊勢崎 3階会議室

保育の仕事への転職・復職・未経験参入をお考えの方におすすめ。



申込フォーム

③ほいくしカフェin渋川 10月22日(木)10:30~12:00

会場:Ladybug Café(渋川市市幸田304-1cocoroe1F)

潜在保育士さん向け座談会です!

参加無料、お茶菓子付き♪



申込フォーム

福祉ぐんま

編集/発行

社会福祉法人 群馬県社会福祉協議会

*福祉ぐんまは、群馬県社協ホームページでも
ご覧になれます。

〒371-8525(専用郵便番号)

群馬県前橋市新前橋町13-12

群馬県社会福祉総合センター内

TEL 027-255-6033(代表)

FAX 027-255-6173

URL https://www.g-shakyo.or.jp/

発行日 令和8年10月1日



ホームページ



facebook



Instagram

読者の声をお聞かせください!

いつもお手に取っていただきありがとうございます。

より一層魅力ある機関紙を発行するため、お答えできる範囲で
構いませんので、アンケートのご協力をお願いいたします。

回答はこちら↓



11月末
締切

抽選で5名に500円分
クオカードペイが当たる!